

2009 年度・研究旅行奨励制度 【グループ旅行】

名 前	吉岡 憲 森 遼平 田中 禎之	研究テーマ	イタリア都市での地震による 文化財被害とその復興状況
目的地	国 名	地域・都市名	
	イタリア	ラクイラ、アッシジ、ローマ	

研究旅行の目的

バック旅行では行くことのできない場所へ行き、現地でしか得られない物を自分たちの目で見、体験するため。また、地震により被害を受けた現地の人たちが自分たちの都市の文化財をどう守り、どう復興しているのかをフィールドワークにより知ることによって同時にイタリア人の都市に対する価値観を知ることができると考えているため。

期待される成果

以上の研究旅行を通して得た物は、第一に卒業論文を書く上での視野が広がる。また、主な訪問先である二つの大聖堂については復興のプロセスが詳しく分かる。今、被災から復興へ向かっているラクイラと、復興に成功したアッシジの比較研究は、ゼロから都市を作っていくという視点で見ると、その都市や市民の本質を見出すことができる。それを今の日本の都市と比較することによって、日本の都市に足りない物を見つけ、今後の地域社会に貢献できると考えている。

旅行日程表

[10 日間]

	滞在地	行 動
第 1 日目		日本→ローマ
第 2 日目	ローマ→ラクイラ	ローマ→ラクイラ（鉄道） ラクイラにて地震の被害調査 サン・ベルナルディーノ聖堂を訪れ、インタビュー
第 3 日目	ラクイラ	ラクイラの都市を歩く 主に現地で復興に参加している人たちに話を聞く
第 4 日目	ラクイラ→アッシジ	ラクイラで得た情報をまとめる ラクイラ→アッシジ（鉄道）
第 5 日目	アッシジ	地震からの復興に成功したプロセスを調査 サン・フランチェスコ大聖堂を訪れ、インタビュー
第 6 日目	アッシジ	アッシジを歩く
第 7 日目	アッシジ→ローマ	アッシジで得た情報をまとめる アッシジ→ローマ（鉄道）

第8日目	ローマ	ローマを歩く カラカラ浴場などを訪れる
第9日目	ローマ	体験してきたことを論文にまとめる
第10日目		ローマ→日本

【報告書・要旨】

私たちは三人で研究旅行へ行きました。この三人は所属するゼミが全員違います。最初、このゼミが全員違うという点でうまく研究内容を一つにまとめるのがたいへんですが、視点を変えてみるとこの点をうまく利用できることに気がきました。普段研究している事がそれぞれ違うからこそより多角的な視点で物事を捉えることができるのではないかと考え、グループでの参加を決めました。

もう一つ、個人で手配して海外旅行に行くので、やはり不安が付いて回ることは必至でしょう。こういった時、グループで旅行することは特に力を発揮します。私たちも現地で色んなアクシデントに見舞われましたが三人がいて、協力したからこそ旅行が成功したと思います。何より役割分担が出来、とても旅程をスムーズに運ぶことが出来ました。

今回、ゼミが違うからこそ三人ともレポート内容は若干変わってくると思います。しかし、それが逆に私たちの良さだと思います。それぞれ、今回の経験・旅行テーマと自分の普段の研究テーマを踏まえた成果を出すことが出来たと思います。